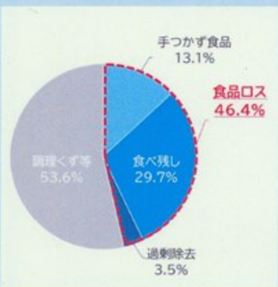
学校名　西中学校

ゴール

株式会社GPSC
Garbage Problem Solving Company

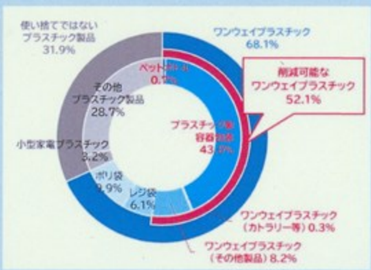
私達が生活するうえで「ゴミ」はどうしても発生してしまいます。「SDGs」にもあるように現在「ゴミ問題」は世界中で深刻な問題となっています。
そこで、私達 株式会社GPSCは ゴミ箱を設置し、西中内からゴミを減らしていこうと考えました。

〈ゴミ問題の現状〉
現在ゴミの排出量は年々減少傾向にあります。
実際、2001年から現在にかけてゴミの排出量は半減しました。
しかし、いまだにゴミ問題は深刻なものになっています。
一例として、ポイ捨てのような【燃やすゴミ】【プラスチックゴミ】は年々増加傾向にあります。



燃やすごみに含まれる生ゴミのうち、手つかずの食品が45%を締めている

手つかずの食品
・賞味期限切れの食品
・売れ残った食品
・食べきれなくなった食品…など



プラスチック製容器包装、飲料や調味料等のペットボトル類、ストローやスプーン等のプラスチック製食器類など。

https://www.city.yokohama.lg.jp

〈西区の課題〉
・ポイ捨てが多い
・ゴミの回収の頻度が少ない
・動物がゴミを荒らしている
・ゴミ箱が少ない
・対策が少ない

→ゴミ問題に対する対策が少なく、対策も広まってない

〈西区の取り組み〉
・『WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER』
・西区内の清掃・美化活動の活性
・ゴミに関する情報発信
・分別の仕方の変更
・SmaGOの設置

↑ビブレ近くのNiigo広場に設置されたSmaGO

https://smago.jp/yokohamanishiguchi20230329/

横浜市西区でのSmaGO設置の取組
2023年3月29日から約1年間、横浜駅西口Niigoひろばにポイ捨ての抑制や街の美化に対する意識の変化、ゴミ分別の意識を高めるために設置されました。周辺のポイ捨てゴミの大幅な削減など、効果が実証されました。

～GPSC取組～

ゴミ箱作成の動機
・横浜だけでなく京都など、様々な都市でのゴミ箱設置の実績あり
・ゴミのポイ捨ての量を減らすことができる
・人を集めることなどに左右されず、効果の振れ幅を考える必要がない
・自分たちで確実に実行することができる

➡ **オリジナルゴミ箱作成、設置の決定**

〈ゴミ箱デザイン〉

真実の口モチーフ

宝箱モチーフ

西中内にゴミ箱を設置し、実証実験を実施！

【ゴミ箱を設置した結果】
真実の口モチーフの方が、多くゴミが集まった！

【実施してみて…】
・ゴミ箱の設置場所に、集まり方が左右される
・効果的な宣伝が必要

〈宣伝方法について〉
ゴミ箱を知ってもらうためにポスターとチラシの作成・掲示を行いました。

電子で配布する予定のチラシ

西中に掲示したポスター